

〈解答〉

- ① 1 縮小  
 2 ウ  
 3 〔例〕お聞きになった  
 4 〔例〕(グラフにすると、日本と諸外国の違いが)一目でわかるから。(9字)  
 5 イ

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ①  
 1 「拡大」の対義語は「縮小」である。ちなみに「拡」の訓読みは「ひろ(がる)」、「縮」の訓読みは「ちぢ(む)」で、どちらも似た意味の漢字を並べた熟語である。  
 2 傍線部②とウは、他から動作を受けることを意味する、受身の助動詞「れる」の連用形である。アは動作が自然に起きることを意味する、自発の助動詞「れる」の連用形、イは尊敬の助動詞「れる」の終止形の一部、エは動詞「切れる」の活用語尾である。なお自発、尊敬、可能の意味の「れる」には命令形の用法がないことに注意する。  
 3 ①段落の2、3行目で聞き手に対して「ご存知ですか」と尊敬語を用いた表現を使っているのに、「聞く」の尊敬語「お聞きになる」に過去の助動詞「た」をつけて「お聞きになった」とする。なお、「お聞きになられた」とすると、「お聞きになる」に尊敬の助動詞「れる」がついた二重敬語になるので適当ではない。  
 4 「グラフ」は数値を折れ線などの図形を用いて表現したものである。「グラフ」には数値を視覚的にわかりやすく伝えることができるという長所がある。  
 5 ②段落では「かかりつけ医」制度の説明と制度への期待が述べられているので、イが適切である。①段落では「大病院と診療所や中小病院との違い」は述べられていないので、アは適切ではない。③段落のアンケートの結果は、「日本における『かかりつけ医』制度の欠点」を説明するためのものではないので、ウは適切ではない。結論を先に述べる構成ではないのでエは適当ではない。